

お客様各位

株式会社 セゾン情報システムズ  
HULFT テクニカルサポートセンター

**Office 365 の TLS1.0、1.1 暗号化による接続の  
無効化に関する PIMSYNC への影響について**

平素より、技術テクニカルサポートサービスをご利用いただき、誠にありがとうございます。

Microsoft 社から、2018年3月1日以降、TLS1.0、1.1 暗号化による Office 365 への接続を無効化し、TLS1.2 での接続を必須とする旨の告知がありました。

PIMSYNC 2.0、2.1 では TLS1.2 に未対応のため、Microsoft Office 365 Exchange Online アダプタを使用している場合に影響を受けます。

同アダプタをお使いのお客様、また、今後ご使用を検討されているお客様は、下記をご確認ください。よろしくお願いいたします。

－記－

1. 対象製品及びバージョン

- PIMSYNC Ver. 2.0 ～ 2.1

※ PIMSYNC 2.2 では TLS 1.2 に対応済のため、TLS 1.1 無効化の影響を受けません。

2. 影響範囲

- Microsoft Office 365 Exchange Online アダプタ

3. 今後の対応

現在ご使用中のバージョンにより、必要な対応が異なります。

詳細に関しては、以下をご参照ください。

① PIMSYNC 2.1 をご使用中のお客様

TLS1.2 で Office 365 Exchange Online に接続するパッチを提供予定です。

提供時期は 2018年2月21日を予定しています。

② PIMSYNC 2.0 をご使用中のお客様

PIMSYNC 2.0 で使用している Java は、TLS1.2 に対応することができません。

そのため PIMSYNC 2.1 以上へのアップグレードをご検討ください。

なお、TLS1.0、1.1 での接続を継続したまま TLS1.0、1.1 による接続が無効化された場合、Office 365 Exchange Online に接続できなくなります。

■ 補足

TLS1.0、1.1 暗号化による Office 365 への接続の無効化につきましては、Microsoft 社の以下の URL に告知がございます。

<https://support.microsoft.com/ja-jp/help/4057306/preparing-for-tls-1-2-in-office-365>

以上